

## 北朝鮮付近を震源とする地震波の観測について（第 2 報）

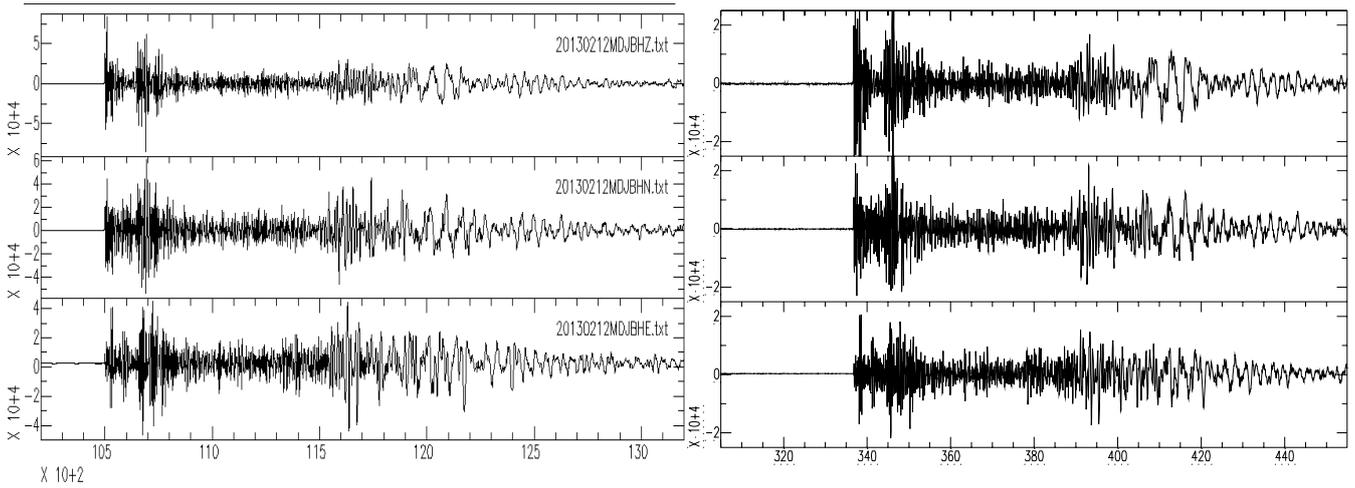
平成 25 年 2 月 12 日 11 時 57 分頃に発生した北朝鮮付近を震源とする地震（マグニチュード（M）5.2）について、気象庁において今回観測された震動波形と、平成 21 年 5 月 25 日 9 時 55 分頃に観測された震動波形、平成 18 年 10 月 9 日 10 時 35 分頃に観測された震動波形、及び北朝鮮北部で発生した自然地震（平成 14 年 4 月 17 日 M4.6）の震動波形の比較を行いました。

今回の震動波形は S 波が不明瞭であるなど、平成 21 年や平成 18 年の震動波形と類似した特徴があり、これらの波形の比較で見れば、今回の地震が自然地震ではない可能性があります。

牡丹江観測点の震動波形  
上から上下成分、水平動 1、水平動 2

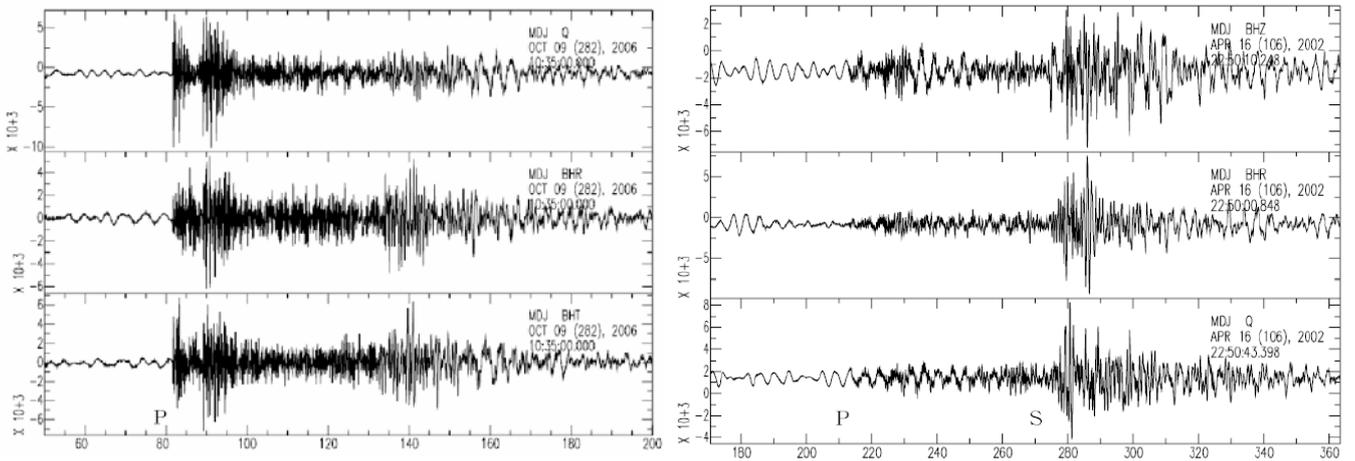
○今回の震動波形

○平成 21 年 5 月 25 日の震動波形



○平成 18 年 10 月 9 日の震動波形

○平成 14 年の自然地震の震動波形



今回波形比較に利用した観測点の位置と震央

- × 今回 (平成 25 年 2 月 12 日) : 北緯 41.2 度、東経 129.3 度 M5.2
- 前回 (平成 21 年 5 月 25 日) : 北緯 41.2 度、東経 129.2 度 M5.3
- 前々回 (平成 18 年 10 月 9 日) : 北緯 41.2 度、東経 129.2 度 M4.9

- + 平成 14 年 4 月 17 日の自然地震 : 北緯 40.7 度、東経 128.7 度 M4.6

